

成果の説明書

(氏名) 野崎謙二	(学部) 経済学部
<p>1 重要事項</p> <p>(1) 研究論文</p> <p>Jingwei Shu との共著論文"FDI directed to Thailand by Chinese enterprises for circumlocutory export"を主著者として執筆・投稿し、Journal of Asian Development 第3巻第2号に掲載された。</p> <p>(2) 学会報告</p> <p>2017年5月に開催された国際地域学会第25回太平洋大会(於:台湾)において、"Recent decrease of the regional disparity in Thailand"をテーマに報告した。</p> <p>(3) その他</p> <p>日本地域学会事務局からの依頼により、研究書"Innovative ICT industrial architecture in East Asia: Offshoring of Japanese firms and challenges faced by East Asian Economies"に対する書評を執筆した(『地域学研究』第47巻第1号)。</p>	
<p>2 その他の事項</p> <p>(1) 学会活動</p> <ul style="list-style-type: none">・日本地域学会理事として、学会の運営に貢献した。・日本地域学会第54回年次大会(於:京都)において、特別セッション「東アジア地域の経済開発」をオーガナイズし座長を務めた。また、同セッションの2件の報告を含め3件の報告に対して討論者を務めた。討論を行った報告テーマは、「Economic growth and parental aspiration for children's human capital」、「Analysis of the "Dutch Disease" effect on the selected resource-rich ASEAN economies」、「韓国の大企業と中小企業の賃金格差について」であった。・なお、上記国際地域学会アジア太平洋大会においても、1件の報告に対して討論者を務めた。報告テーマは、「Direct, indirect, and total effects in the spatial model of FDI determinants in Vietnam」であった。	
<p>3 次年度以降の計画・抱負</p> <p>(1) 教育</p> <ul style="list-style-type: none">・後期より演習が始まるので、学生が国際学科を選択してよかったと実感できるように、演習内容を充実させていきたい。また、2019年度には、ゼミ単位で実施する海外フィールドワークも行う予定であるため、そのための現地情報の収集、受け入れ先との調整を進めていきたい。 <p>(2) 研究</p> <ul style="list-style-type: none">・引き続き拡大メコン地域を中心とした東南アジアを対象にして、経済連携の進展状況や、経済政策の効果について研究を続けていくこととしたい。その成果を、国際地域学会や日本地域学会等、内外の学会等において報告し、論文の取りまとめにつなげていくこととする。その際、幅広く知見を共有すべく、日本地域学会においては、特別セッションの立ち上げを行う方向で準備する。・本学地域科学研究所の新しいプロジェクトに積極的に参画し、高崎市における地場	

企業の活動状況や対外進出などをテーマとした調査に取り組むこととする。